

2022年度 事業所における自己評価結果「児童発達支援」

公表： 令和 5年 2月 15日

事業所名： からふるone

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	事前に職員間で使用するエリアなど声掛けしている。同刻に数名いる場合にはスタッフ同士で話し合っている	タイムスケジュールや使用スペースの確保を意識しながら、よりよい活動の仕方を検討・継続してまいります。
2	職員の配置数は適切である	10	0	配置上問題はありません	
3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	0	療育室の扉は、両開き式になっている。視覚的なフォローが必要な場合は絵カードまたは、絵を描いて提示したりしている	玄関・洗面台等、入室～開始までのプロセスを番号およびイラストで可視化しております。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	0	毎日清掃している。使用した器具を随時収納している。必要ない物は片付けながら、なるべくスペースを空けるように心掛けている	毎日清掃・消毒を行っております。安心してお越しいただけるように配慮しております。
5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10	0	サービス提供記録で振り返りを行っている。適宜、スタッフ会議を行っている。モニタリング会議を行っている	PDCAサイクルを進めやすくするため、職員同士で相談しやすいの形成を目指しています。モニタリング会議は月1回実施しております。
6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0		保護者等からの事業所評価の集計結果を貼り出し、各職員に意識づけを行っております。
7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0		からふるHPで公開しております。
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	3		他方面よりいただいた意見を真摯に受け止め、検討の上で業務改善に努めます。
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	研修を深く行っている。適宜、社内研修を実施している。	施設内研修および外部研修を実施・参加して専門性を高めるよう努めております。
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	0	アセスメント会議で職員同士が意見出し合い、共通認識を持てるようにしている。アセスメント研修を実施した。ケース会議を行っている。	支援の質の向上のため、アセスメントやモニタリングを適時年間計画に反映させて頂いております。
11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2	職員間での情報共有の中で、アセスメントツールを参照しながら話し合っている。	
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	0	スタッフ間で支援内容を共有し、改善すべき支援を話し合う時間を設けている。	お子様一人一人に対し、個別のニーズ・成長に対応した支援計画を作成しております。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0	支援計画は、児童の支援に入る際に常に意識してプログラムを考えている。支援をする前には毎回、児童発達支援計画を確認している。	支援の質の向上のため、アセスメントやモニタリングを適時計画書に反映しております。
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	4	継続した方がいいことや、変化は共有している	プログラムに応じて、職員間で情報共有・打合せをおこなっております。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	2	他の職員が行っている支援を見てアイデアをもらったり、書籍などから楽しく行えるプログラムを探している。	お子様が楽しみながら療育に参加できるよう新しいプログラムの立案に努めております。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	0	個別で出来るようになった事を、集団で般化出来るように療育の流れを作っている。	お子様の成長段階等を検討の上で個別にお誘いする場面もございます。

2022年度 事業所における自己評価結果「児童発達支援」

公表：

令和 5年 2月 15日

事業所名：

からふるone

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	3	前もって当日の担当者等を割り振りしているため、個々に合わせたプログラム立てができています。	支援前後に限らず、こまめに情報共有を行っております。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	2	その時にあった出来事は積極的に共有したり、意見交換を行っている。また、フィードバックシートを確認し、前回の様子を確認して取り組んでいる。	支援前後に限らず、こまめに情報共有を行っております。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	客観的データに対してアセスメントを行い、次回の計画をしている。	報告を保護者様宛にPDFにて送信しております。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	0		月1回、モニタリング会議を実施しております。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	10	0		実施時には職員1名、状況に応じて2名を選出し、会議に参加しております。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	3	子供家庭支援センターや区の療育施設と連携している。	関係機関がある場合は保護者様から聞き取りを行っております。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	4	医ケアの児童は現在在籍していない。	医ケア児の在籍時は相談支援事業所を中心にヒアリング等を行っております。現在は医ケア児の在籍はございません。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	4	診療記録などの申し送り書面の活用をしている。	お子様によっては、必要に応じて医療機関と情報交換等をさせていただいております。
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0	保護者の要請があった時は、幼稚園などを訪問し情報共有をしている。	必要と判断した場合は職員2名ほどで足を運び、見学時の内容を保護者様・学校(幼稚園等)へ報告書を作成、提出を行っております。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	2	年長の児童には就学支援シートの記載を行っている。小学校に見学に行った。	必要と判断した場合は職員2名ほどで足を運び、見学時の内容を保護者様・学校(幼稚園等)へ報告書を作成、提出を行っております。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1	積極的に参加している。	行政や専門機関の行う説明会・研修は積極的に参加しております。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	5		事業所近くの公園で屋外活動を行う際、他児童と交流する場面がございます。
29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	4	積極的に参加している。	管理者等代表1名を選出し、参加しております。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	日々の支援のフィードバックシートには、児童の成長した点などを小さな事でも気付いた点を記載し報告している。また、現状(このようなヘルプを行うことで〇〇が出来る)も意識して記載している。サービス提供記録を送付している。	毎日のご様子や振り返りを、メールにてお送りさせていただいております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	5	保護者からの要望があった際は実施している。	是非、ご面談(事業所内相談支援)をご活用ください。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	契約時にご説明をしています。	ご契約時や更新等の手続き次第、随時ご説明をさせていただいております。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0	個別支援計画の説明時にご了承いただいております。	内容について確認・修正を経て、ご説明ご了承の時点で計画書への同意書名をいただいております。

2022年度 事業所における自己評価結果「児童発達支援」

公表：

令和 5年 2月 15日

事業所名：

からふるone

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	いつでも相談できる体制を整えています。	是非、ご面談(事業所内相談支援)をご活用ください。
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	7	コロナ渦で実施できていません。	現在、保護者会は行っておりません。ですが必要な場合、ご希望・ご都合が合う場合には、ご了承を得て保護者様同士をおつなぎする場面もございます。
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	いつでも相談できる体制を整えています。	是非、ご面談(事業所内相談支援)をご活用ください。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	会報を定期的に配布している。	3ヶ月に1回、室内に掲示 及び からふるから郵便物に同封させていただいております
38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	0	個人情報の取扱いについて会議を行った。個人情報が記載されたファイルを収納しているキャビネットは施錠している。	重要書類は鍵付き書庫に保管しております。
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	個々の特性に配慮している。	月1回のスタッフ会議に加え、研修等で意識づけを行っております。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	5	コロナ渦で実施できていません。	地域住民の方も参加可能なイベントを、また 催していけたらと思います。
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	0	マニュアルを設置しています。	年に2回、2月と9月を目安に避難訓練(地震・火災想定)を、その他消火器訓練等を5月に実施いたしております。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	避難訓練を実施しています。	年に2回、2月と9月を目安に避難訓練(地震・火災想定)を、その他消火器訓練等を5月に実施いたしております。
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	2	個々に情報をいただいております。	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	10	個々に情報をいただいております。	事業所で準備した食物を提供する機会がございません。今後、イベントやおやつ等、食物を扱う際には保護者様との情報共有を徹底していきます。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	事案があった場合、適切に報告している。	毎月の職員会議にて報告・改善の検討を常に行っております
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	研修を実施している。	施設内研修および外部研修を実施・参加して 専門性を高めるよう努めております。
47	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	0	明記している	施設内研修および外部研修を実施・参加して 専門性を高めるよう努めております。